

令和 7 年度 第 2 回  
沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会  
会議録

と き：令和 7 年 11 月 11 日（火）  
ところ：水道部庁舎 3 階会議室

司会	<p>定刻となりましたので、令和7年度第2回沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会を開催します。</p> <p>本日は2名の委員が欠席していますが、委員の半数以上が出席していることから、審議会条例第6条第2項の開催要件を満たしていることを報告します。</p> <p>以降の審議は、審議会条例第6条の規定により、松井会長に議長をお願いします。</p>
会長	<p>議事に入る前に本日の議事録の署名人の選出を行います。</p> <p>本日の議事録署名人については栗原委員、小林委員にお願いします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>議題1 沼津市水道事業ビジョンの改定について、事務局から説明をお願いします。</p>
上水道工務課	《資料：沼津市水道事業ビジョン改定案(概要版)、沼津市水道事業ビジョン改定案(以下『ビジョン改定案』)について説明》
会長	ただ今の事務局説明に対して、ご質問等はありますでしょうか。
委員	<p>配布されたビジョン改定案の中で目標値が記載されていない箇所がありますが、今回示されていない理由を確認したい。</p> <p>また、ある程度の目標値を持っているのであれば確認したいと思います。</p>
水道総務課	<p>ビジョン改定案のP35の一覧表のうち、黄色の網掛け部分については、現在目標値を示すことができない部分であり、具体的な目標値については次回提示したいと考えています。</p> <p>現在示せていない目標値については、同時に作成しているアセットマネジメント計画を基に設定する部分ですが、作成にまだ時間を要することから今回示すことができません。</p> <p>このため、今回の審議会では、第1回審議会でいただいた意見を基に作成されたビジョン改定案の基本方針などについて確認いただき、次の第3回審議会において具体的な目標値を提示し審議いただくこととしています。</p>
委員	<p>P15の鉛製給水管の説明で受水槽の写真が掲載されてしまっているので、上段の受水槽の説明箇所に写真を掲載する方がよいと思います。</p> <p>今回示されなかった、管路の耐震化等の目標値について検討する場合、国が策定している国土強靭化基本計画の目標値も参考にするなど、適切に設定してもらいたい。一方、国が示している目標値は理論的な数値であるため、工事費が大きくなりがちな重要管路の更新を優先するなどにより国の計画どおりに進捗しないこともあると思うのであくまで参考値として検討をするのがよいと思います。</p>
委員	<p>現在の社会情勢の中で、特に重要な取組の一つとして震災への対応が考えられます。防災訓練などを実施すると思いますが、訓練は実際の震災を想定して行うなど役に立つものにしてもらいたい。</p> <p>現在はDXやAIなどを活用した防災に関する取組もあることから、そのような事例を積極的に導入するような取組を進めてもらいたいと思います。</p>

副会長	P35 の強靭の実現方策の内、上下水道耐震化計画に基づく水道施設の耐震化について、この施設はどのような施設を想定しているのか教えてください。
上水道工務課	内容を確認して後日回答します。
委員	P35 の強靭のうち、施設の耐震化に係るところは、市民の安全安心につながる部分だと思うので説明ページについて、具体的な取組を含めてもっと内容を充実させた方がよいのではないかと思います。
会長	強靭に係る対策については、前半の課題の説明と後半の対策の説明についてもう少し整理をした上で掲載した方がよいのではないかと思います。 能登半島の災害を契機に施設の耐震化の強化や冗長性などの方策が増えたものと認識しているが、どの取組を主眼において進めていくのかなど、重要な取組が見えにくくなってしまっている。そこで、もう一度全体的な取組の内容について検討して下さい。
会長	この他ご意見はありますでしょうか。 ご意見もないようですので、以上で、本日の審議は終了させていただきたいと思います。 それでは、先ほどお願いしました本日の議事録の署名人を栗原委員、小林委員にお願いしたいと思います。
司会	以上で、令和7年度第2回沼津市水道事業及び下水道事業経営審議会を終了します。  ここで事務局から連絡します。 本日の経営審議会で委員の皆様からご意見をいただきましたが、お配りした資料を改めて確認いただき、追加のご意見がありましたら、併せてビジョン改定案に反映していきたいと考えています。 後日意見聴取に関する案内を送付させていただきますので提出をお願いします。 また、第3回審議会につきましては来月の下旬を予定しています。 次回の経営審議会では、これまでにいただいた意見を反映させた水道事業ビジョンの改定の最終案を提示したいと考えています。 また、水道事業経営戦略につきましてもビジョン改定案に基づき作成し、併せて提示させていただきます。
委員	今後の審議会の進め方の確認だが、第3回審議会では、今回示されたビジョン改定案のより精細なものが示されるのか、あるいは具体的な数値が入ったものが示されるのか確認したい。 また、この審議会ではビジョンをどこまで完成させる予定なのか併せて教えてほしい。
水道総務課	計画を策定する場合、策定前にパブリックコメントを実施し広く市民の皆さんに意見を伺った上で適時修正した後に策定することとなります。 本審議会では、パブリックコメント用に縦覧される計画の最終案の段階までの作成をお願いしています。 これを踏まえ、第3回審議会では今回お示したビジョンを原案として、意見を反映

	させた上で数値を入れたものを示す予定であり、経営戦略についても併せて提示させていただきます。
委員 上水道工務 課	<p>第1回の審議会で、令和12年度までの目標値を示した資料をもらっているが、それらの修正についても説明されるということでよいでしょうか。</p> <p>また、数字的な根拠や細かい説明を受けられるということでよいでしょうか。</p>
委員 上水道工務 課	そのとおりです。
	これまでの説明では、今後は給水人口が減ることで給水収益も減っていくという財政上厳しい状況となる中で、耐震化だけでなく冗長性も追加で実施することとなっています。このような厳しい状況であえて、耐震化と切り離して冗長性に関する取組を新設した理由を教えて下さい。
司会	<p>昨年発生した能登半島地震において送水管が損傷した際に、冗長性がなかったことで多大な被害が発生し復旧に時間がかかったことは明確です。</p> <p>能登半島においては、平成19年にも地震が発生し、その際にも送水管が損傷し被害が発生しており、その後、復興に係る計画を策定し対策を進めていたところ昨年の地震があり、再度送水管を破損し多大な被害が発生したという経緯があります。</p> <p>このような状況を踏まえ、基幹管路や口径の大きい重要管路については十分注意しながら冗長性を持たせるような計画をしていくことが重要になっていきますので今回のビジョンに掲載しています。</p> <p>以上で事務連絡を終わります。      本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございました。      また、次回もよろしくお願ひします。</p>